

●木津川希少種植生調査業務の集草作業 12月7日(土)、8日(日)

12月7日(土)の集草作業は同志社大学生延べ16人が駆けつけていただき、里山の会から森島、播川、太田、金田、有田、大村、森、伊藤さんの8人で24人の大部隊で集草作業を行いました。木津川市加茂町分が午前中に出来上がりました。この日、同志社大学サッカー部は急遽試合があったので、女性クラブのメンバーが中心となってきていただきました。試合の関係で集合地の変更もあり、各方面(兵庫県神戸市、尼崎市・大阪府高槻市、枚方市)の皆さんへの連絡が大変だったと思います。最南端の木津川市の加茂町小谷への移動には自動車でも40分かかりますので手配が大変だったと思います。昼食は堤防の上でしたので、良い景色に恵まれて寒さも少し和らいだ時間だったのではないのでしょうか。午後からも引き続き加茂の堤防と渦の樋門のところの作業をしていただきました。



翌日の12月8日は同志社大学生延べ20人、里山の会からは前日と同じ8人が加わって木津川市山城町渋川付近と京田辺市山城大橋付近の集草をしていただきました。この日は屈強な男子の方でしたので、運び出し運搬も比較的順調に進められました。私たち里山の会の主なメンバーは高齢化によって体力の衰えが加わって、重作業の所を助けていただきました。残るところは(旧)八幡市東小学校(イヌハギ)と京田辺市手原川(タヌキマメ)、を残すのみということになりました。刈草を堆肥として使いたいとのリクエストがきていましたので20袋分程度をお分けさせていただきました。見た所大量ですが積み上げていくと思ったほどでもなくなるので対応処分されることが求められるところです。翌12月9日は、運び出しができなかった9袋の片付けに、太田、有田さんが朝から出かけていただき整理をしていただきました。これで上流部は片付けました。遠くから出かけてくれました皆様本当にご苦勞様でした。また12月13日に最後の部分にも是非お力をお貸しくださいとの厚かましいお願いに応えようのご返事をいただき、八幡市から京田辺市分が行いけるものと思っています。9:30が現地集合(旧八幡東小学校の木津川堤防上)ですのでよろしくお願いいたします。

●ナンキンハゼの白い実の収集

京都新聞で里山の会が京田辺市の木と指定されているナンキンハゼの白い実を収集している記事を掲載していただき、ご覧になった方が里山の会の事務所にご持参くださいました。また京田辺市の緑花協会からもご持参いただきました。大変有難く、一同感謝しております。

●ポレポレランドの蝶 12月14日のプレゼンテーションでの発表資料づくりに大奮闘 事務所に来所

2024年度の昆虫観察に参加されてきたシュタイナー学校の中学生二人がこれまで観察し、ノートに記録してきたものを夏休みの宿題として学校で発表されました。そのノート資料をもとに、第5回イタセンパラの復元を目指す会で披露していただきたいとお願い致しましたところ、積極的に

取り組んでみましょうと返答をいただきました。7日(土)と次の8日(日)に事務所でパワーポイントの作成のお手伝いをさせて頂きました。まだまだPCの扱いは不十分ですがどうかそれらしいものが作れました。発表は14日に予定している京田辺市大住中学校隣の北部住民センターで13:30から行います。多数の皆さん応援をよろしくお願いいたします。

●里山里海つながるフェス 近鉄高の原・イオンモール 展示紹介に参加 野村治氏 12月8日(日)

京都大学を中心に開催され「やましろ里山の会」にも取組の紹介展示の呼びかけがあり、野村治さんを解説者として参加いたしました。講演では竹門康弘先生から竹蛇籠や中聖牛製作設置の活動で魚の棲み処作りや流動砂の制御の役割の大切さに役立っているとして活動を評価されました。また出展大学や高校生とも交流する機会として良い展示会となりました。これをきっかけにして自然を大切にする取り組みに発展させて行きたいと思いました。

●アライグマ学習会 現地視察(里山農園))と学習会(京田辺市中央公民館) 12月12日(木)

いよいよ本日がアライグマの学習会を迎えることになりました。夜間撮影カメラの設置と京田辺市農政課から檻を借りて設置したことで何度か撮影と捕獲に成功してきましたが、まだまだいるのだろうと相当ショックを受けました。京都府自然環境会に相談すると学習会を開きましようとなり、本日を迎えることになりました。

●昨年に引き続き第5回目のイタセンパラの復元を目指す会を開催いたします。 12月14日(土)

会場はこれまで井手町でしたが今回は京田辺市北部住民センター(通称・桃園)大住中学北隣ですのでお間違えの無いようにお願いします。昨年の反省でイタセンパラの報告だけではなく、里山の会は多くの生き物の取り組みがありますので、その報告もあった方が良いとのご意見があり、次のような活動紹介者を決めて報告を行いますのでよろしくお願いいたします。

開会は13:00から行って開会挨拶の後に

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------------------|------|
| ①魚とりの取り組み紹介 | 有田勉 | ⑤ヤマトサンショウウオの取組 | 太田敏之 |
| ②ポレポレランドと蝶 | 中沢洋斗(中学生) | ⑥アライグマの取組 | 森島保 |
| ③オオムラサキの取組 | 森島保 | ⑦カスミサンショウウオの取組とアライグマの取組 | |
| ④昆虫の取組 | 金田徹 | | 山村武正 |

その後参加者から自由発言をいただき次年度の活動の方向を探りたいと思います。

よろしくご準備下さい。

●12月も中旬にさしかかり、「2024年の里山の十大ニュース」を決める頃になりました。

皆様の所で里山の会の今年の出来事でふさわしいと思われる候補がありましたらお伝え下さると有難いです。メールまたはFAXで送信下さい。お待ちしております。候補決定は次週18日(水)到着をもって締め切り、事務局会議出席者で決定させていただきます。発表は26日(木)の週刊ニュースで行ないます。

●里山農園にて「しめ縄づくり」 12月24日(火) 9:30

準備の都合もありますので20家族を受け付けます。今年は障がいをお持ちの方々も参加をご希望ですので随分賑やかな取り組みになると予想しています。お手すきの方がおられましたら、助け舟としてお越し下さると幸いです。応援をお待ちしています。

